

14 温度センサ（形名：PAC-SE40TS）

温度センサは、空調する部屋の温度が室内ユニットや、リモコンで的確に検知できない場合に、部屋の温度が的確に検知できる場所に取付けていただくものです。

1. 取付場所

部屋の平均的な温度を検知できる場所で、直射日光や熱源、エアコンの吹出空気が直接当たらない場所に取付けてください。

2. 取付要領

- (1) 温度センサ(スイッチボックス)の据付位置を決めてください。
但し、下記の事項を必ず守ってください。
 - 1) 温度センサは、部屋の平均的な温度を検知できる場所で直射日光や熱源、エアコンの吹出空気が直接当たらないところをお選びください。
 - 2) 2心ケーブルを壁埋込にする場合、下記の部品は現地にて調達してください。
 - 十字穴付ナベネジM4……2本
 - 1個用スイッチボックス(JIS C8336)
 - 薄鋼電線管(JIS C8305)
 - ロックナット・ブッシング(JIS C8330)
- (2) ケーブルを接続します。
 - 2心ケーブルを下ケースの端子台に接続します。
2心ケーブルは図1のように被覆をはがし、図2を参照して正しく配線してください。

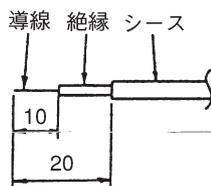


図1

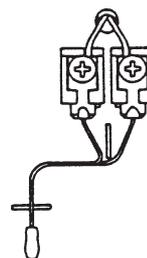


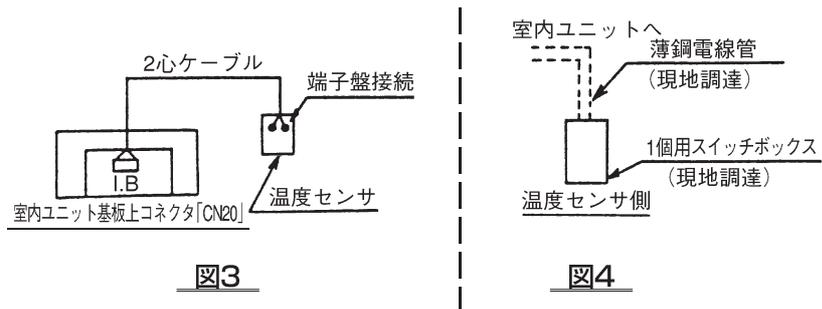
図2

ご注意

室内ユニットの電源が切れている事をご確認の上、ケーブルの接続作業を行なってください。

- 室内ユニット基板と温度センサとの配線は、図3のようになります。2心ケーブルは、室内ユニット基板上的コネクタCN20に接続されている室内ユニット吸込温度センサを外した後、2心ケーブルのコネクタを接続します。

2心ケーブルを壁埋込にする場合は図4のようになります。

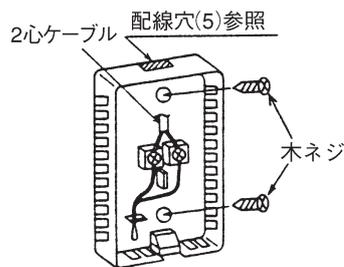


- (3) 下ケースを壁またはスイッチボックスに取付けます。

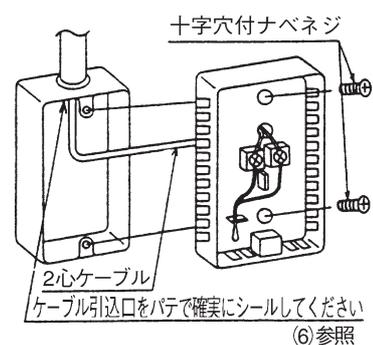
ご注意

- ・ネジを締めすぎますと、ケースの割れ・変形の原因になります。
- ・2心ケーブルを端子台に付ける時の推奨締付トルクは1.2N・m {12kgf・cm}です。

壁に取付ける場合



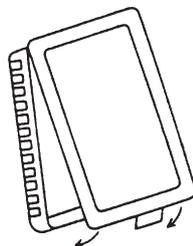
スイッチボックスに取付ける場合



ご注意

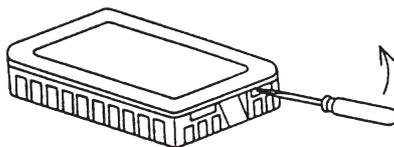
- ・平らな壁に据付けてください。凹凸のある壁に取付けますと、ケース割れや故障の原因になります。

- (4) 上ケースをはめ込みます。
上部爪(2箇所)を先に掛けて、下図のようにはめ込みます。

**ご注意**

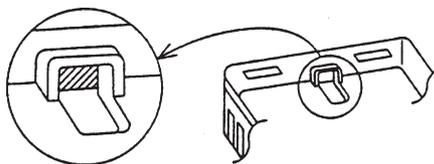
・ “パチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。

ケースを外したい場合、下図のようにマイナスドライバーを爪部分にはめ込み、矢印で示す方向に動かしてください。

**ご注意**

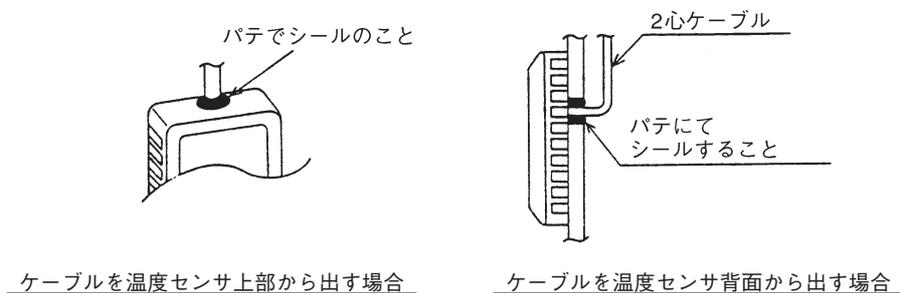
・ ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。
爪がこわれてしまうことがあります。

- (5) 壁などに直接据付ける場合の配線穴
下ケースの薄肉部(斜線部)をナイフ・ニッパーなどで切取ってください。端子台に接続した2心ケーブルをここから出します。

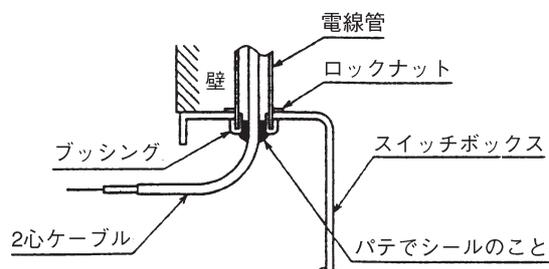


- (6) 露、水滴、ゴキブリ、虫などの侵入防止のためケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。
- 壁に直接取付けた場合は下ケースの切取った部分をパテでシールします。
また、壁に穴をあけケーブルを通す場合(ケーブルを温度センサ背面から出す場合)その穴も同様にシールしてください。
 - スイッチボックスに取付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。

壁に直接取付ける場合



スイッチボックスを使用する場合



- (7) 天井カセット形、天吊形に接続した時は、リモコンによる機能選択で暖房4degアップを無効に設定してください。

モード番号 : 24	暖房4degアップ無効
設定番号 : 2	

詳しくは、P6-14『6.システム制御・4.リモコンによる機能選択』をご覧ください。